

超短焦点プロジェクター対応  
パネルスクリーン CBYH

# 取扱説明書

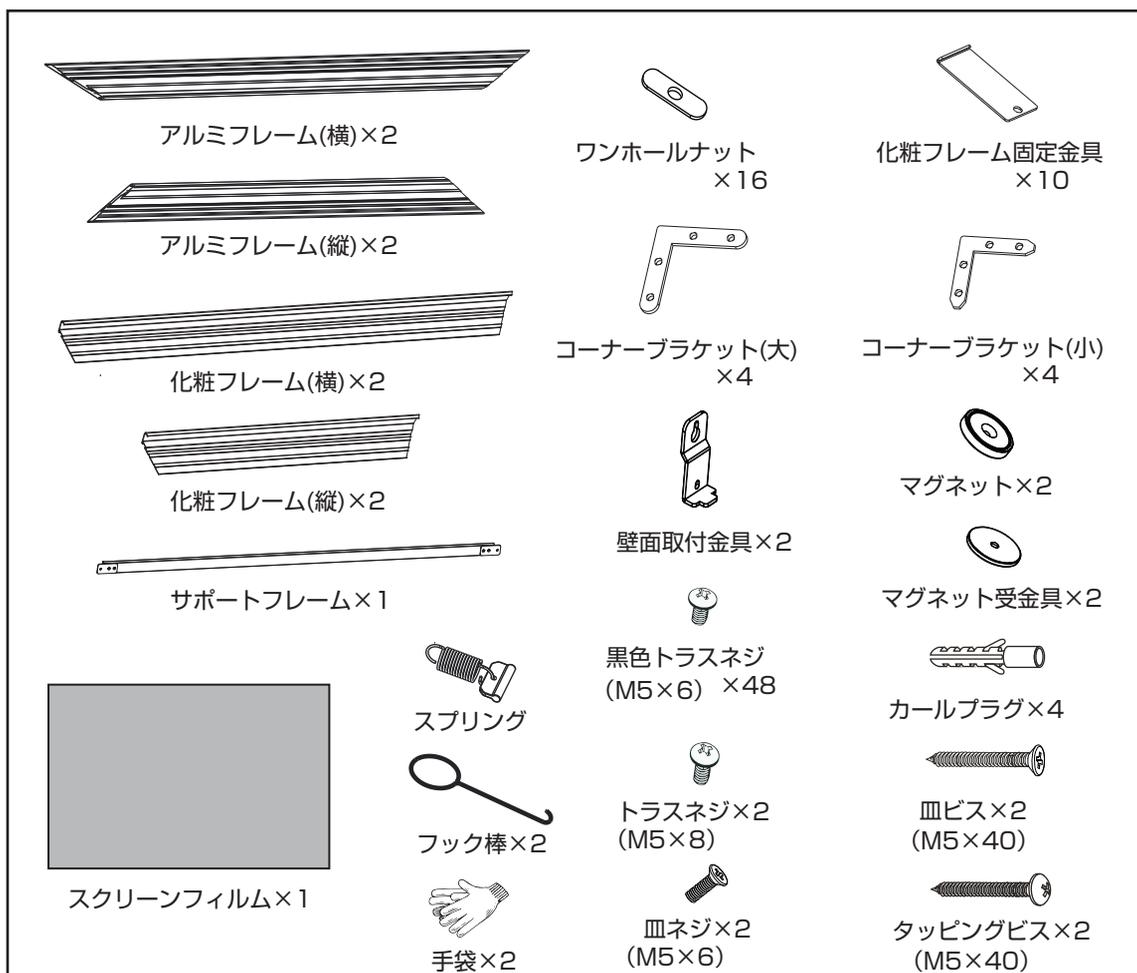


株式会社 ケイ アイ シー

## 注意事項

- ・本書に従って製品組立を実施してください。本書の組立手順に沿わない組立に起因する事故、損傷及び機能不全については製品保証対象とならず、メーカー及び販売元は一切の責任を負いかねます。
- ・本製品は必ず2人で組立作業を行ってください。
- ・スクリーン生地をねじったり、捻ったりしないようにお取扱いください。生地のねじれ、捻りの跡は生地表面に残ります。
- ・生地の張込時には保護シートを使用してください。
- ・スクリーン生地に傷を付けたり、生地表面の光学レンズを損傷しないようにハサミ・カッター等の鋭利なものは生地に近づけないようにしてください。
- ・製品組立時には部品の鋭利な部分の取扱いにご注意ください。また、小さなお子様が生地に近づかないようにお気を付けてください。
- ・スクリーン生地表面の埃、指紋などを除去する際は、羽毛ダスターまたは水で湿らせた柔らかい布を使用し、レンズ方向（水平）に沿って軽く拭き取ってください。拭取り時、生地表面を強く押さないでください。

## パーツリスト



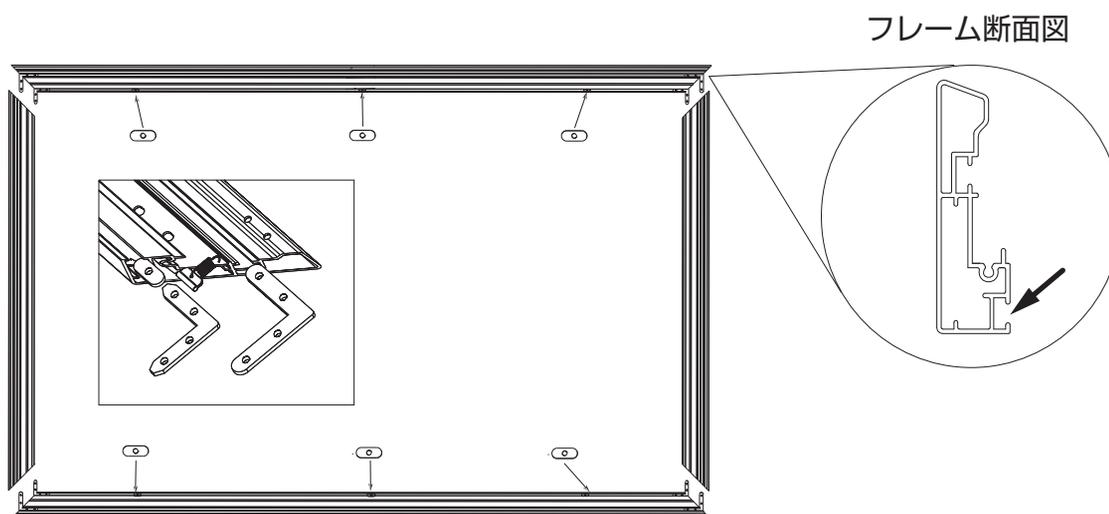
# 組立手順

## 1. アルミフレーム組立

### 1 - 1

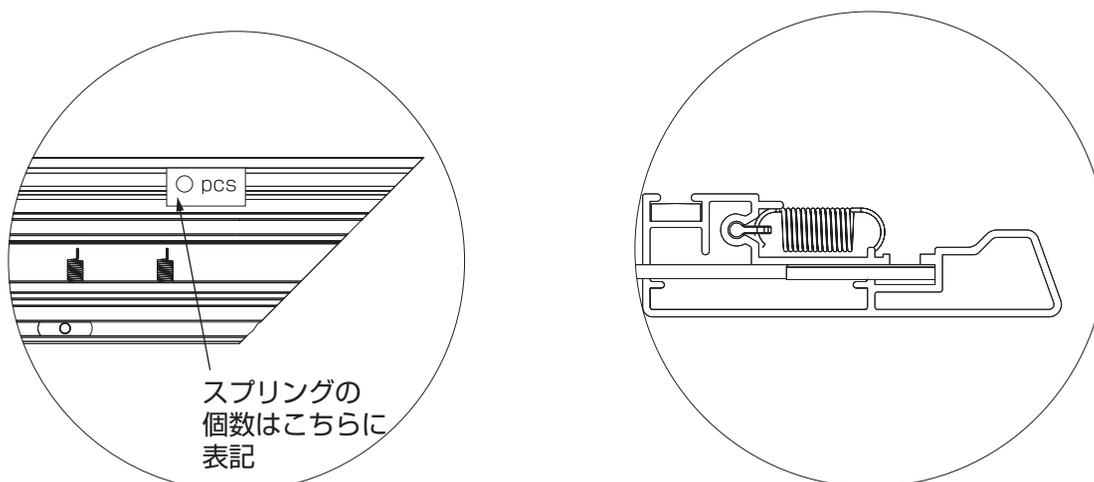
アルミフレーム(横)の内側にあるレールにワンホールナットを3個ずつ入れます。

※ここで用意するワンホールナットは後ほどサポートフレームの固定や壁面取付金具の固定に使用します。



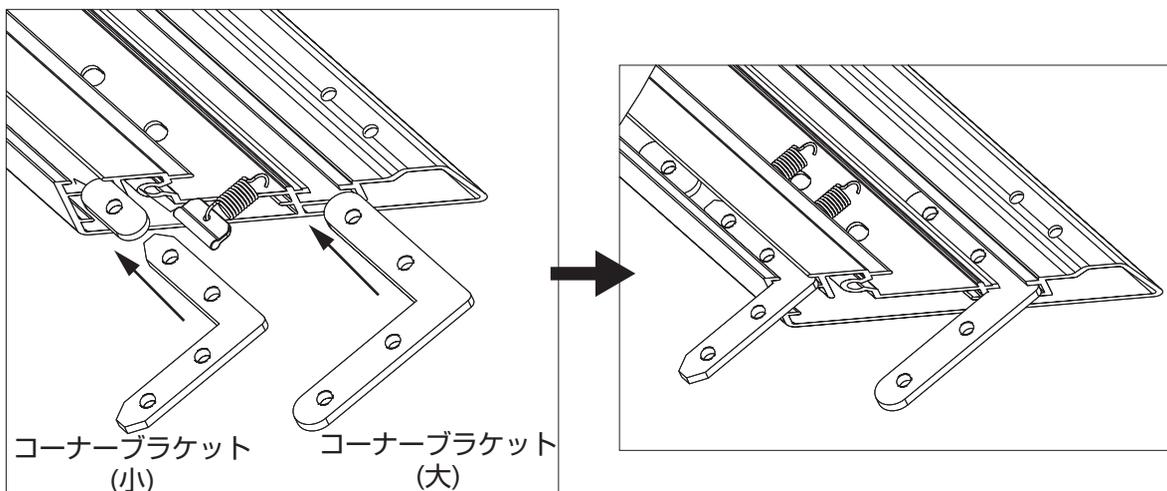
### 1 - 2

フレームに貼り付けてあるラベルを確認し指定された個数のスプリングを各フレームにスライドさせて取り付けていきます。この時、スプリングのフックがフレーム側を向くように取り付けてください。



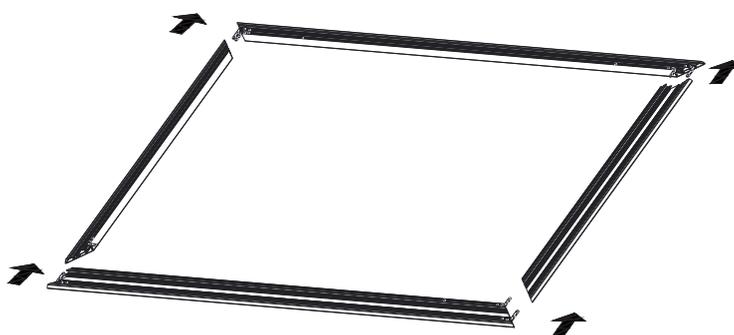
1 - 3

アルミフレーム(横)の両端にコーナーブラケットを差し込んでください。コーナーブラケットには先端が丸い大きいサイズと先端が角ばった小さいサイズの2種類あり、それぞれ1個ずつ使用します。(小さいコーナーブラケットは1-1で取り付けしたワンホールナットと同じレールに差し込んでください。)



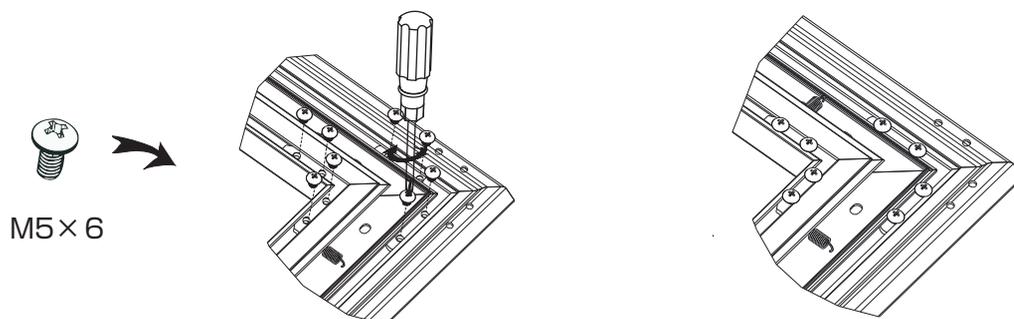
1 - 4

先ほどのコーナーブラケットを装着したアルミフレームを組み合わせます。



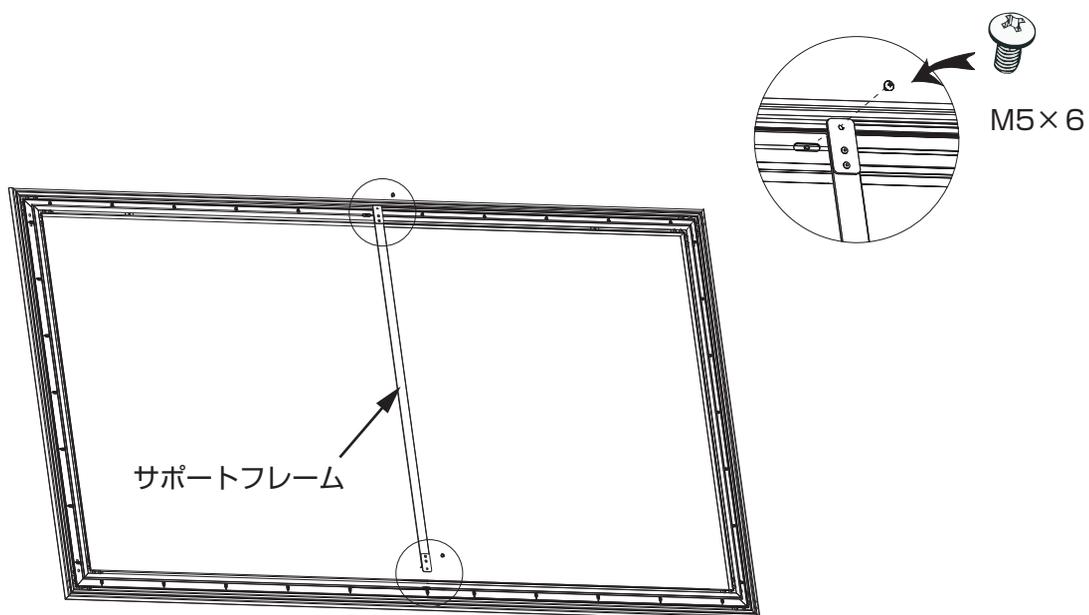
1 - 5

M5×6の黒色トラスネジを使用してフレームとコーナースタップを固定します。



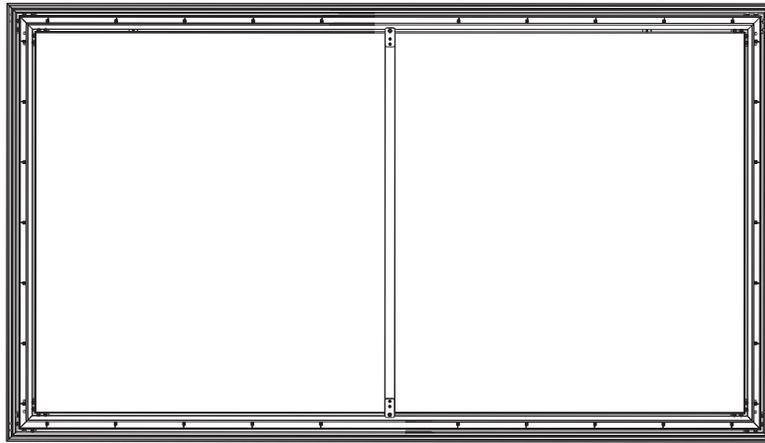
1 - 6

【1-1】で上下のアルミフレームに3個ずつ取付けておいたワンホールナットのうち、それぞれ真ん中にあるワンホールナットをアルミフレームのセンターに配置します。  
ここにサポートフレームをM5×6の黒色トラスネジで固定します。



## 1 - 7

すべての黒色トラスネジの固定ができたならアルミフレームの組立は完了です。



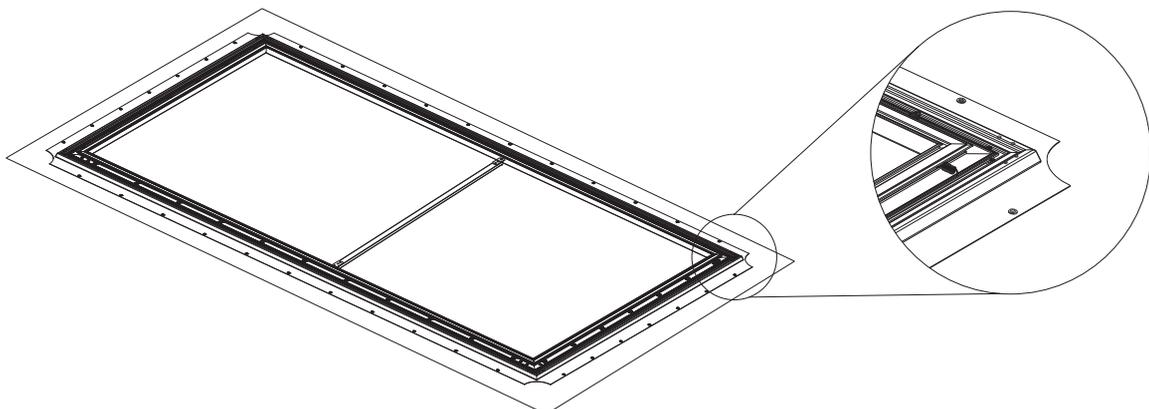
## 2. スクリーンフィルムの張込

### 注意：

- ・スクリーンフィルムを扱う際は常に幕面の平面性を保ってください。
- ・平面性を保つためにスクリーンフィルムは折り目がないように慎重に広げてください。
- ・スクリーンフィルムの下に障害物がないことを確認してください。また、スクリーンフィルムの上に物を置かないでください。
- ・スクリーンフィルムを扱う作業中は手袋の着用を推奨します。

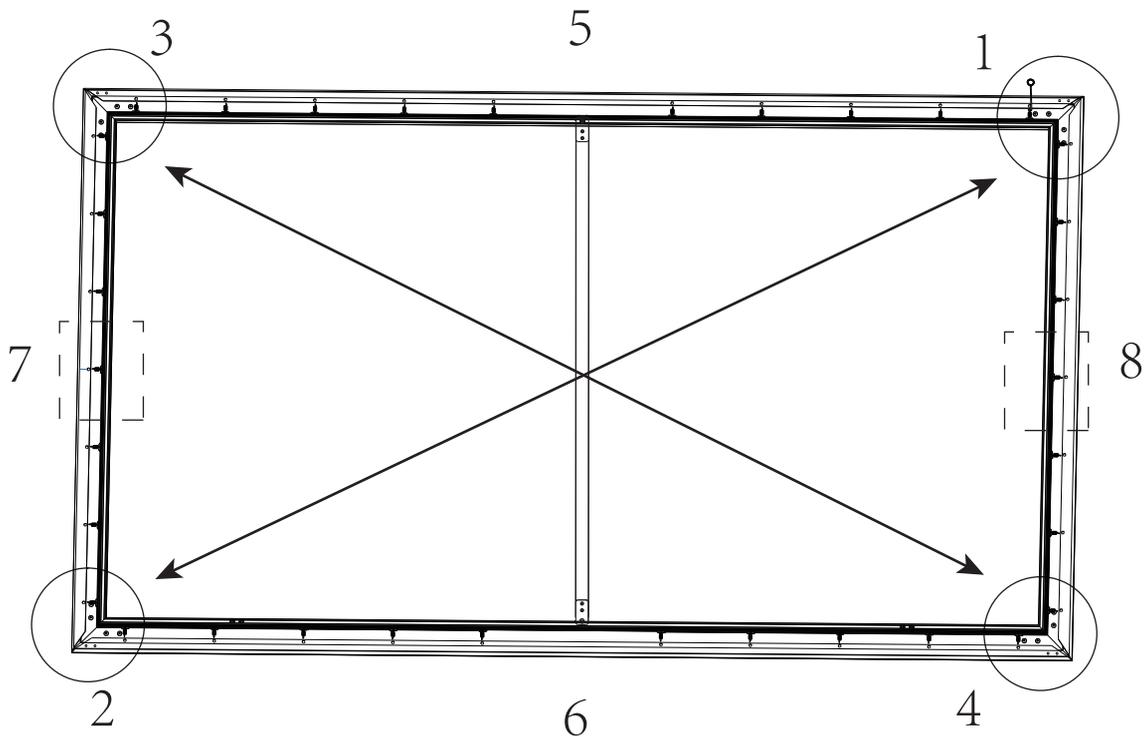
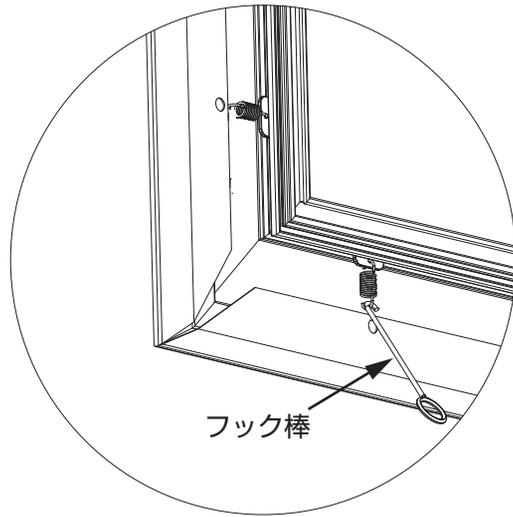
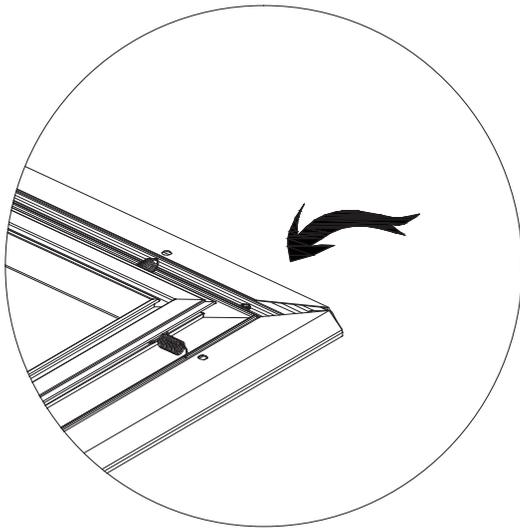
## 2 - 1

- ①上記の注意事項に気を付けながら平らな床面にスクリーンフィルムを養生シートと一緒に広げてください。この時スクリーンの投影面が下向きになっていることを確認してください。
- ②広げたスクリーンフィルムの上に先ほど組立てたアルミフレームを静かに置きます。アルミフレームはスクリーンフィルムの四方の長さが均等になるように配置してください。
- ③アルミフレームに装着されたスプリングをスクリーンフィルムに設けられたハトメの位置に合うようにスライドさせます。



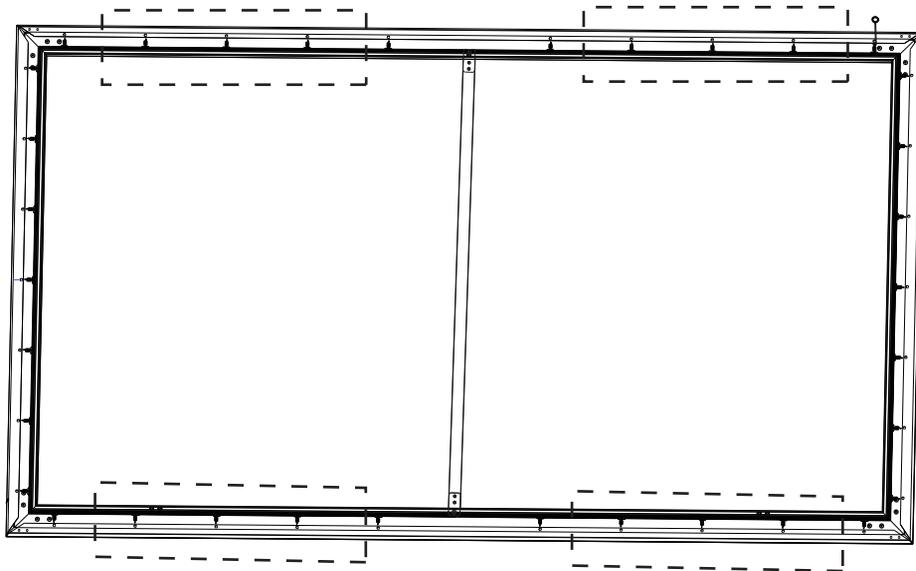
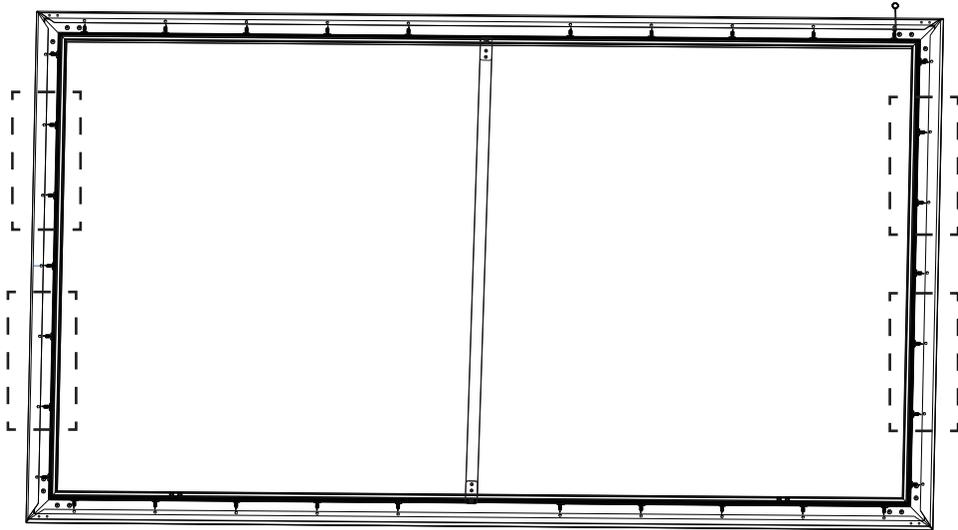
2-2

スクリーンフィルムの端をアルミフレームに巻き付けるように折り返します。下図に記した順番で付属のフック棒を使用してスクリーンフィルムのハトメにスプリングを引っ掛けてください。



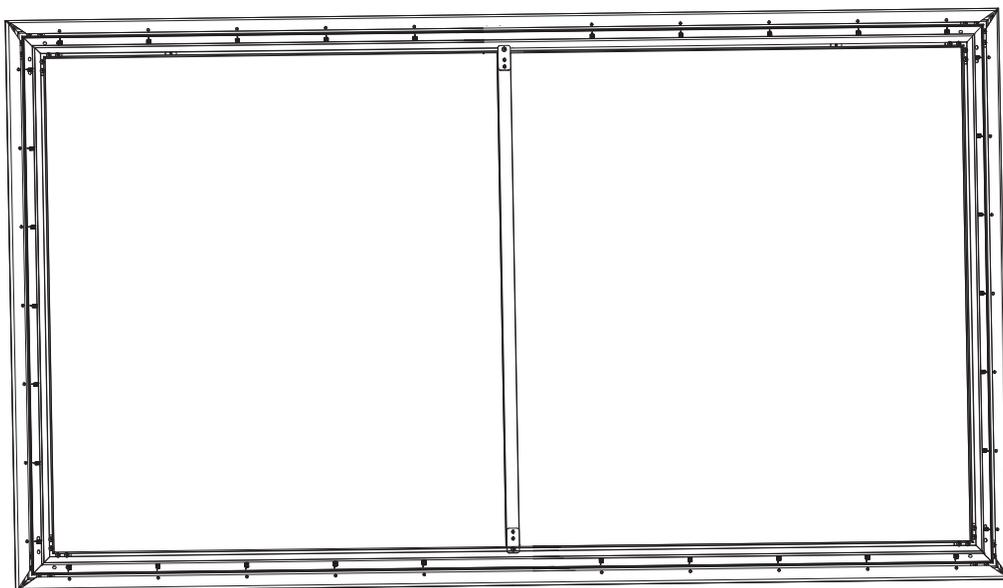
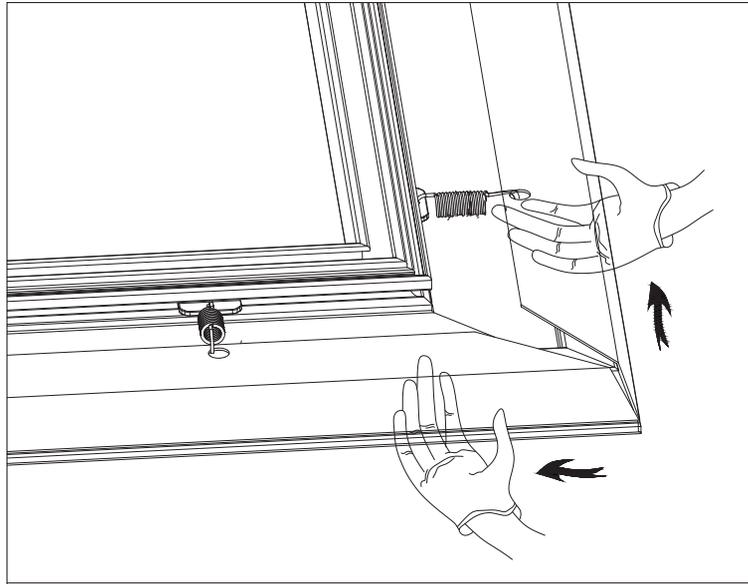
2-3

均等にスクリーン生地が引っ掛けられたことを確認し、すべてのハトメにスプリングを引っ掛けていきます。



2-4

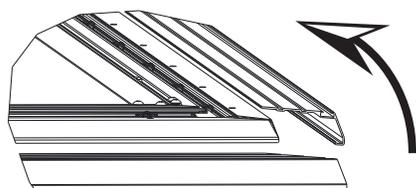
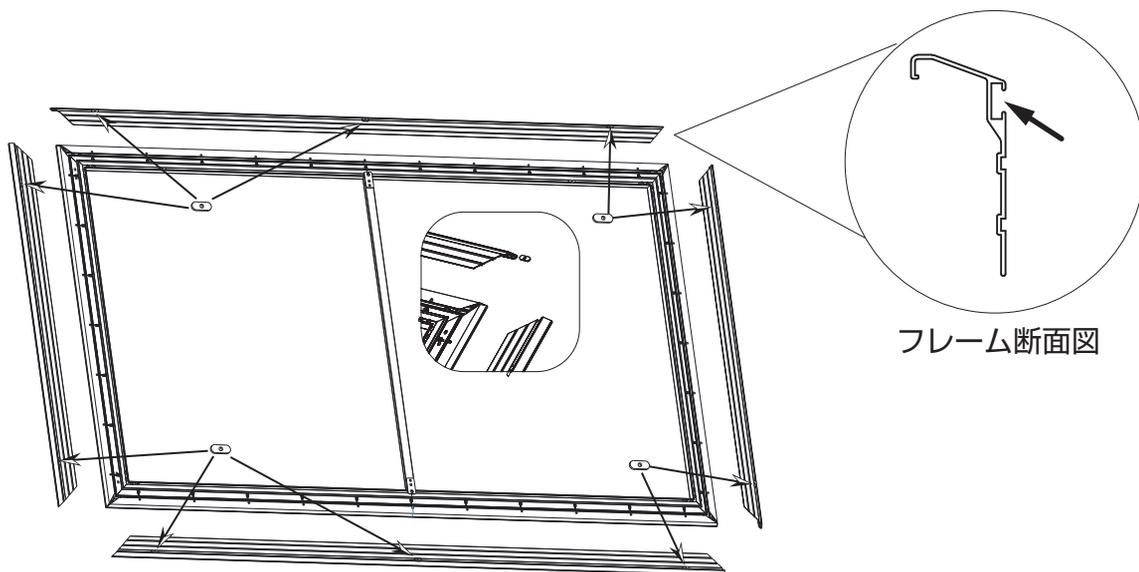
すべてのハトメにスプリングを引っ掛けることができればフレームの周囲にできたシワを伸ばすように調整をしてください。このとき、必ず手袋を装着した状態で作業を行ってください。



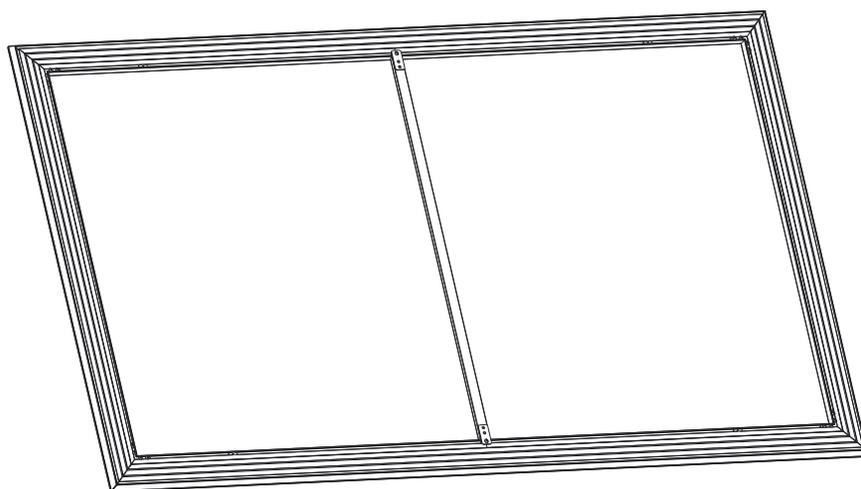
### 3. 化粧フレームの取付

#### 3-1

化粧フレーム(横)に3個、化粧フレーム(縦)に2個のワンホールナットを背面のレールに差し込んでください。  
次にスクリーンフィルムが取り付けられたアルミフレームに化粧フレームを取り付けてください。

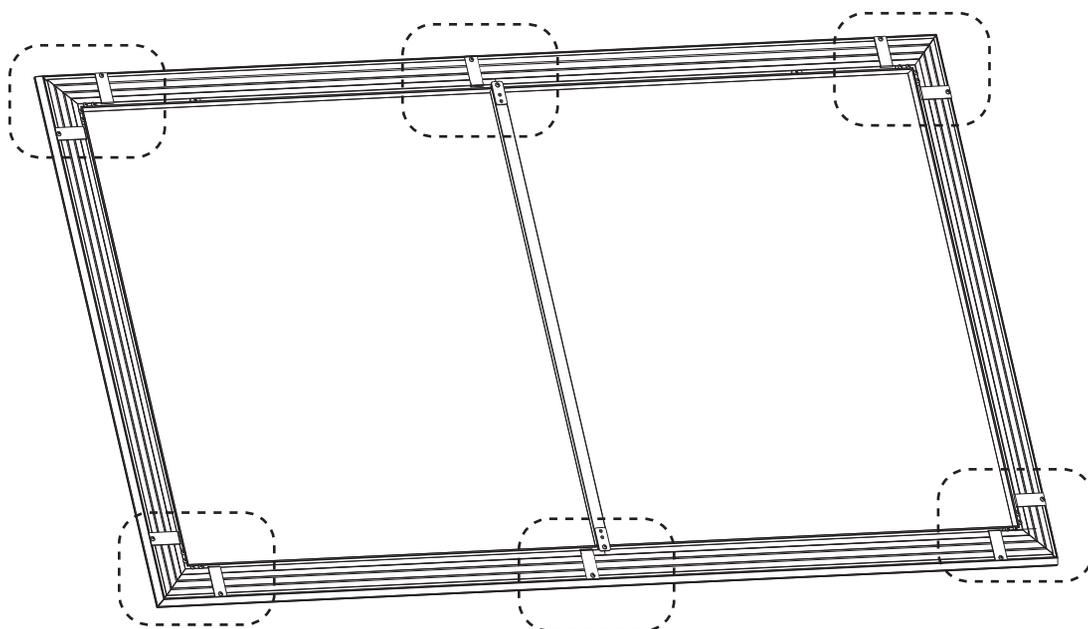
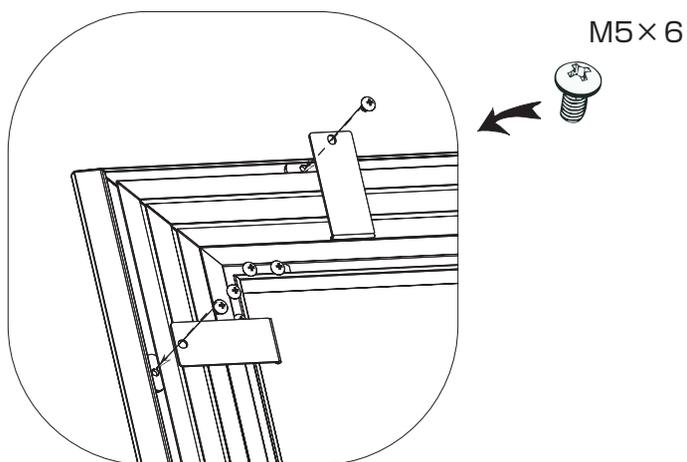


化粧フレームは短い部分がスクリーンの投影面に被るように取り付けます。



### 3-2

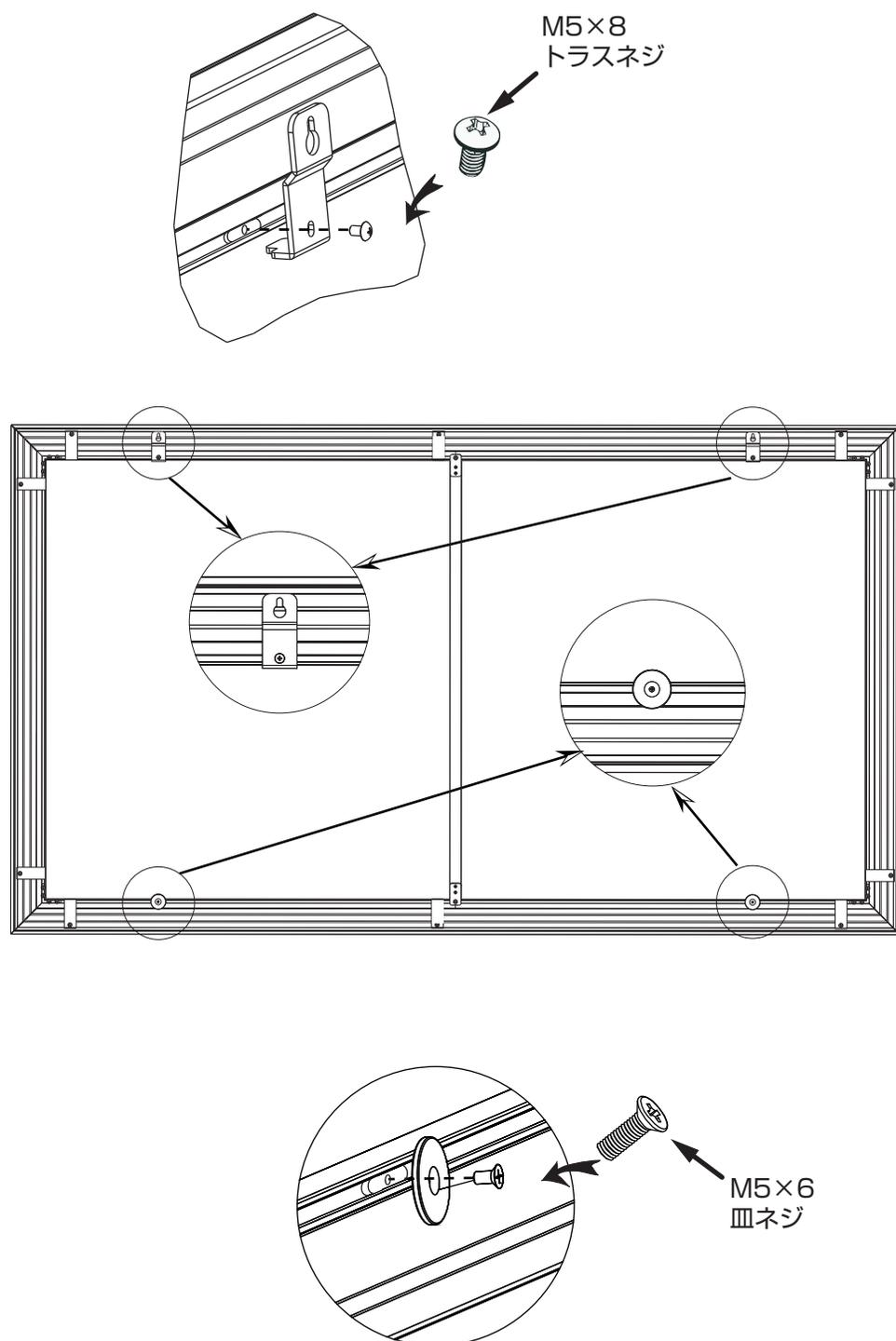
化粧フレーム固定金具をアルミフレームの端に引っ掛けてください。  
次にネジ穴を化粧フレームに取り付けたワンホールナットに合わせて  
M5×6の黒色トラスネジで固定します。



## 4. 壁面取付金具の取付

4 - 1

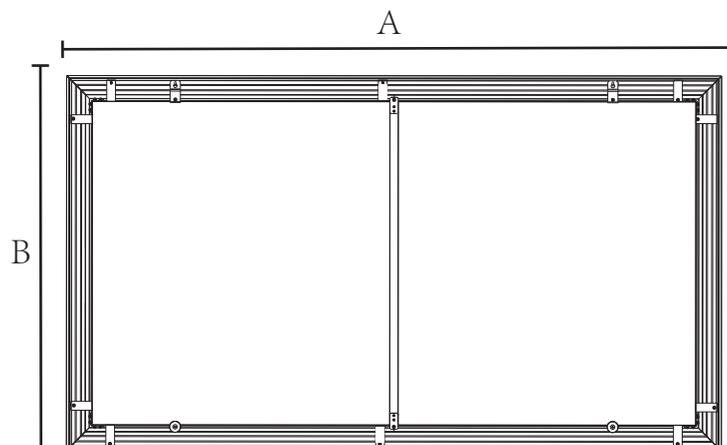
アルミフレームに取り付けたワンホールナットを使用して上部に壁面取付金具を2個、下部にマグネット受金具2個を取り付けます。後ほど、取付ピッチを調整する必要があるため完全には締め付けないでください。



## 5. 壁面への取付

### 5 - 1

組立が完了したスクリーンの外形寸法（AとB）を測定します。



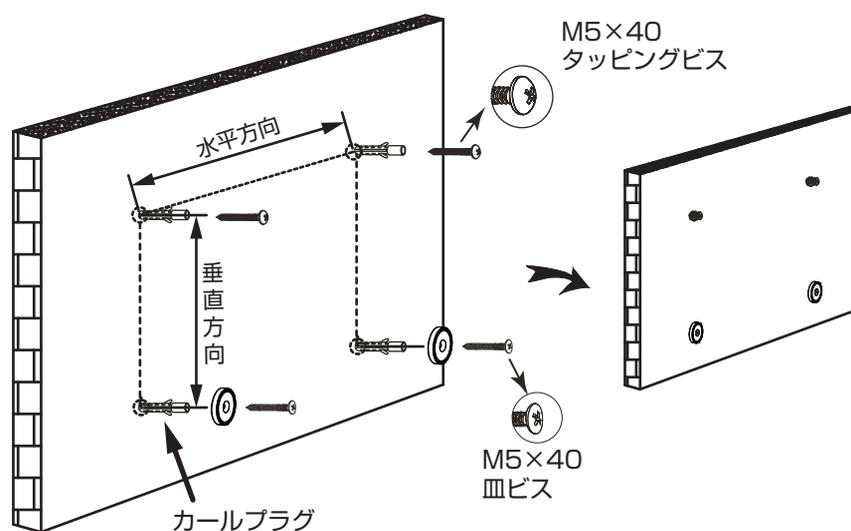
### 5 - 2

スクリーンを設置する壁面に壁面取付金具を取り付けるための穴を開けてください。

開口する穴のピッチは下記の寸法を目安に開けてください。

水平方向：外形寸法（A）の2/3

垂直方向：外形寸法（B）-105mm



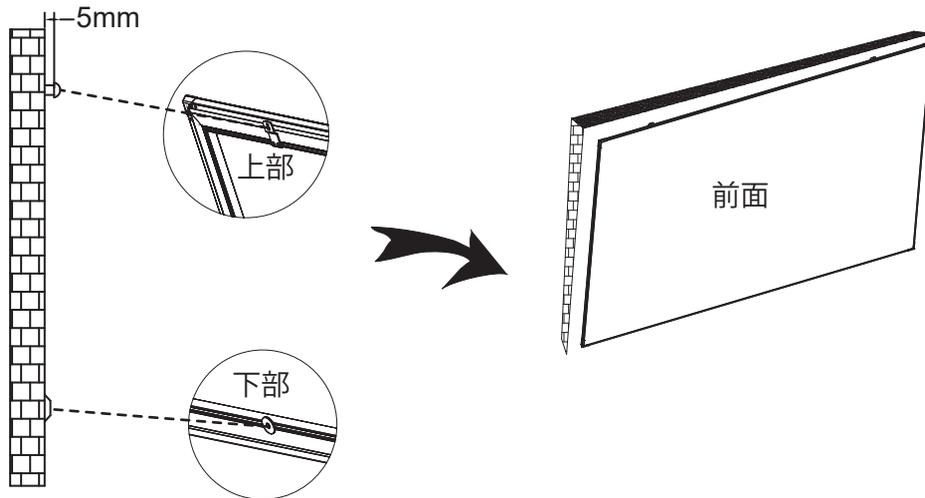
### 5 - 3

先ほど開口した穴に付属のカールプラグを打ち込んだのち、上部の2か所にM5×40のタッピングビスを締めこんでください。このあとタッピングビスにスクリーンの取付金具を掛けるため、完全に締めこまないよう注意してください。

下部の2か所には皿ビスを使用してマグネットを取り付けてください。

5 - 4

壁面の準備が完了したらスクリーン背面に取り付けた壁面取付金具とマグネット受金具の位置を調整し、しっかりと固定してください。壁面のタッピングビスにスクリーン上部の壁面取付金具を掛け、下部のマグネットにマグネット受金具を取り付けてください。



## 保証書

保証期間 ご購入日より	1年間
----------------	-----

品名・形式

販売店

パネルスクリーン CBYH

ご購入日

お名前

〒 住所

ご連絡先

お客様



株式会社 ケイアイシー  
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-28-11  
TEL. 03-3357-4839(代)  
<http://www.kic-corp.co.jp>



(本社・東京営業部、大阪支店にて取得)